

「確かな学力」の育成

上益城教育事務所

学力向上検証改善サイクルの改善と学校総体とした取組の充実

- ① 課題改善プランの見直しと学校総体とした取組
 - 諸学力調査結果の全教員による速やかな分析の実施と課題の共有
 - 課題解決を図る校内共通実践事項の設定と徹底
 - 日々の授業改善につながる校内研修の工夫
例) 教員が実際に学力調査問題を解き、求められる力を確認する等
- ② 国や県の学力調査結果の分析及び個別プリント等の効果的な活用
- ③ 適切な学習評価に基づく、個に応じた指導の充実(指導体制の工夫)

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ① 児童生徒が「分かる・できる」「好き」になる授業の推進
 - 「なぜ」「おそらく」が生まれる導入の工夫
 - 『何を学んだか』を実感し、深い理解につながる「まとめ」の充実
 - 「分かった」「できた」と実感できる適用問題(練習)や「もっとやってみよう」につなげる振り返りの場の設定
- ② 児童生徒が各単元等の「ゴールの姿」に到達するような「構想」と、指導後の「省察」の習慣化

学習習慣の確立

- ① 家庭学習の量と質の向上
例) 授業とリンクした課題の提供
帰りの会での計画作成
- ② 自ら学ぶ意欲を高めるための家庭との連携
例) 「家庭学習の手引き」の活用
学力の伸びや学校の取組の発信
意欲の向上につながる評価と好事例の紹介
- ③ 読書活動の充実と学校図書館等の計画的な活用
例) 一斉読書の日の設定
例) 速音読の継続